

完了後の評価個表

整理番号	3
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (復旧治山)	都道府県名	滋賀県
事業実施地区名	南谷 (みなみだに)	事業計画期間	平成10年度～平成27年度(18年間)
関係市町村名	大津市	事業実施主体	滋賀県
完了後経過年数	5年	管理主体	滋賀県
事業の概要・目的	<p>本地区は、県南西に位置する比良山系の西側を流れる一級河川安曇川の支流にあり、花折断層の影響により地質的にも脆弱で山腹崩壊などの災害が多発する地域である。</p> <p>平成4年8月の台風第11号がもたらした記録的な集中豪雨により、大規模な山腹崩壊が発生した。崩壊した土砂量は約15万立法メートルに達し、堆積した多量の不安定土砂が流出し、河道が閉塞されることにより下流域に洪水被害を発生させることが懸念された。このことから、下流域の人家や道路等の保全を図ることを目的として、崩壊した山腹斜面の復旧と荒廃溪流を安定させるため、平成10年度から復旧治山事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：治山ダム工14基、山腹工2.2ha、護岸工103.0m、流路工202.3m ・総事業費：1,743,341千円（税抜き：1,664,878千円） （平成20年度評価時点 総事業費：2,033,000千円（税抜き：1,942,593千円）） 		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用対効果分析における主たる便益は災害防止便益であり、本便益は、山腹工や溪間工の施工により崩壊斜面の復旧と土砂流出を防止し、下流域の人家等を山地災害から防ぐ効果を算定したものである。なお、算定基礎となる保全対象である人家の戸数や道路の延長等に特段の変化は見られない。</p> <p>総費用及び総便益は、現在価値化の計算により、前回評価時点と比べ増加している。</p> <p>総便益(B) 3,080,220千円（平成20年度評価時点：2,324,420千円※） 総費用(C) 2,916,840千円（平成20年度評価時点：2,242,286千円※） 分析結果(B/C) 1.06（平成20年度評価時点：1.04※）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施により、崩壊斜面の復旧および土砂流出の防止が図られ、下流域の人家や道路等が保全されている。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された治山施設については、滋賀県において定期的に点検を行い、必要に応じて補修を実施することとしている。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業の実施により崩壊斜面が復旧されるとともに、不安定土砂の流出が抑えられている。</p>		

⑤ 社会経済情勢 の変化	<p>本地区においては、事業完了後から保全対象に大きな変化はない。</p> <p>主な保全対象：人家45戸、公共施設等10戸、道路2,300m（国道1500m、市道700m、林道100m）、農地1.2ha</p>
⑥ 今後の課題等	<p>本事業で整備した施設により、土砂流出の防止効果が発揮されており、現時点では施設の劣化等はなく、地元から追加整備の要望もないことから、改善措置等の必要性はないと考えられる。</p> <p>施設による効果を長期に発揮させていくため、今後は、定期的な点検と適切な維持管理に努めていく必要がある。</p> <p>・地元の意見 本事業により、被災当初から強く要望してきた災害防止等が図られた。事業完了後も治山施設の定期的な点検と適切な維持管理をお願いしたい。 (大津市、葛川坊村町自治会)</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に多量の不安定土砂が堆積し、崩壊斜面から新たな土砂流出の可能性があったことから、地元からの対策の要望等を踏まえ、森林の有する山地災害防止機能を高度に発揮させることにより、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当っては、現地に応じた最も効率的かつ効果的な工種の組み合わせが検討され、事業実施に当っても流路工の工法をコンクリート打設からブロック積へ見直したこと等のコスト縮減を図りつつ施工されていることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 山腹工や治山ダム工等の施工により、崩壊斜面が復旧するとともに土砂の流出が抑えられており、下流域の人家や道路等の保全が図られていることから、事業の有効性が認められる。

※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：南谷

都道府県名：滋賀県
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	15,387	
	流域貯水便益	6,754	
	水質浄化便益	24,706	
環境保全便益	炭素固定便益	4,917	
災害防止便益	山地災害防止便益	3,028,456	
総 便 益 (B)		3,080,220	
総 費 用 (C)		2,916,840	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,080,220}{2,916,840} = 1.06$		

評価箇所概要図

整理番号	3
------	---

滋賀県

事業名	民有林補助治山事業(復旧治山)	地区名	南谷
-----	-----------------	-----	----

